

2018年度 第1回 理事会議事録

日 時：2018年5月16日（水）10:00～16:30

場 所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2号館 401

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶：おはようございます。さて本日は100名の出席を見込んでいます。その100名は育ってきた時代、環境が違います。従って多様な価値観を皆さんお持ちです。その価値観の違いに苛立つのではなく、価値観の違いを楽しんでもらいたいと思います。石産協の目的は石材産業の健全な発展とさらなる向上を図ると共に、新たなる石文化の創造に努め、もって社会に貢献することを目的として活動しています。自分に出来る事で、周りの仲間、石産協、業界、ひいては社会の役に立つことを一人一人が持ち寄って、活動を深めて積み重ねる。そんな活動をしてまいりたいと思っています。

III. 議事

1. 議長選出：白木副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数の確認：理事出席 63名（79名中）有効委任状 63名 監事出席 3名（3名中）顧問 3名
次期役員候補者 27名、オブザーバー1名 事務局 3名 合計 100名

3. 議事録署名人の指名：正副会長より井口 功氏及び監事より斎藤勝実氏を指名

4. 資料及び議題の確認・新議題の採択 なし。

* 議事録確認（メール配信済み）2017年度第3回理事会、第7回・2018年度第1回正副会長会議

5. <会議の進め方：竹ノ内関連部会長より>

【審議事項】

(1) 入退会について 入会 7名／退会 24名＋年会費未納者 9名（計 33名） 大代 資料 P2/P6/P20 差替 P1

大代：2名追加で申し込みがあった。本来は正副を通すのだが、今回は特例にて理事会での審議をお願いする。三上支部長からご意見があったが、入会審査では入会動機がはっきりしないので、支部長が本人に確認しコメントをお願いしたい。

入会 7社：全会一致にて承認 退会 24名 年会費未納者 9名 自動承認

退会防止策についてテーブルディスカッション

⑩テーブル山本：メリットがないことについてだが、メリットは石産協を一般の方が皆知っていて、石産協の石材店ならば大丈夫。お客さんが来てくれる会社になると会員が増えると思う。支部の方では理事会等の会議に出席することによって、真剣にこういったことを考えてもらえる機会が増えるということで、役員を順番に回してはどうかという意見が出た。

③テーブル小田：会員の退会理由に業績不振がある。辞める方は仕方がない、若い方に働きかける、情報発信、支部活動を行い、末端の会員の方に情報発信していく。実際は、情報発信していく事が中々できていないという意見があった。愛媛県の大島産地では、産地証明書の発行の為に入会し、それ以外のメリットは感じない。石産協の産地証明である理由がわからないという声もある。

⑭テーブル姫田：これからますます退会者が増える。事業継承者がいない。新規に会員を探す。5人以下の会社多いので、講習会等が東京に集中していることから、地方からは出るに出られない。石産協がどんなことをしているのか一般会員に告知をしてほしいという意見があった。

⑫テーブル吉野：メリットがない原因について、石産協ではいろいろな事業を行っているが、会員に伝わっていない。活字で流すだけでなく、事業内容を支部長が、少しかみ砕いて伝えることが必要ではないかという意見がでた。理事会の報告を、支部の末端の方に伝えるコミュニケーションを図る工夫が必要ではないかという意見がでた。

①テーブル：紹介者のフォローが少ないので、もっとフォローをする。メリットを感じる相手と出会う委員会を進める。

⑪テーブル堀口：このテーブルではメンバーの増減はあまりない支部が殆どだった。メリットがないことに対しては、技能士会、組合のコラボ。据え付けのやり方、字堀など細かいところまで共有できたら協会のメリットがあるではないかという意見がでた。

井口健：是非、会員拡大はここにいるメンバーが皆協力していただけたらと思う。入会すると社会が広がることを伝えてほしい。推薦者カードを作るので、各支部メンバーに渡していただき、私の方から入会を勧めていきたいと思う。

吉岡顧問：埼玉県では埼玉県石材業協会、技能士会、青年部、埼玉県支部 4 団体あり、若い世代にいいくにつれ石産協が後

2018年度 第1回 理事会議事録

回し。ネットワークを作る意欲が欠けているのではないかと思います。先輩がいろいろ教えていけたらと思う。

(2) 【お墓D】第14回検定試験報告決算(2018/1/24終了) 湯浅 資料P21

湯浅:2017年度受検は、天候による交通機関の乱れ、インフルエンザ等の対応策を委員会にて話し合っていたと思う。
中川:インターネット検索でお墓の検索が増えているのだが、一般の方はお墓に興味を持っているのではないかと一般向けの検定はどうなっているのか気になっている。
湯浅:年々受検者数は減少している。一般向けの検定は委員会でも度々話し合いをしているが、委員メンバーも限られた人数なので難しいのだが、一歩踏み出し、検討しながら進めていきたい。

全会一致にて承認

(3) 【お墓D】第15回検定試験事業計画(2019/1/23) 湯浅/小野 資料P24

小野:前回同様、例年通り行う。会場は札幌、仙台、東京、大阪、高松、福岡の6会場。受検者減少などから、受検の付加価値を上げていくよう委員会で力をいれていきたいと思っている。受検者を増やす為に、皆さまのお力をお借りしたい。
佐野:前回決算が、今回の予算にあまり反映されていないように感じる点と、受検者を増やす方策はあるのでしょうか?
小野:昨年はDMを減らしたが、受検者が減少したため、受検者を増やす為にPRするために今年度は予算を上げている。

全会一致にて承認

(4) 【お墓D】ジャパンスターショー出展について(2018/8/22~24) 湯浅/小野 資料P27

小野:JSSに1コマ出店とセミナーを行う。セミナーは現役のお墓ディレクター有資格者の三上地区長と大阪石材工業㈱の望田様2名に講演をお願いする。今回ブースで一般の方に過去問を使ったミニ検定を行い、そこでどのような反応があり、どのようなことに興味をもっているのかPRも兼ねてサンプルをとる。ミニ検定に参加した方に国産パワー石^{ストーン}をプレゼントする。配布するパワー石^{ストーン}は、採石原石部会の皆さまの協力をお願いしたい。セミナーではお墓ディレクターという資格をどのように生かしているのかをPRし、受講者へDMを配り受検PRをする。
佐野:会場で使用するDMとディレクター検定のDMリーフレットとは違うものなのか?チラシはどんな形のものなのか?
小野:違うものになります。

全会一致にて承認

(5) 【ストーンショー】ジャパンスターショー企業紹介冊子の作成(2018/8/22~24) 上野 資料P29

上野:JSS用に冊子を作成し会場で配布。JSS出店企業紹介と企業紹介広告掲載希望者へ募集をする。5000部印刷予定。費用対効果はかなりあると思う。良い機会なので協力をお願いしたい。
中川:宣伝効果があればよいが、イベントを行った結果から次に進むということは考えているのか?
上野:広報としては使命感で参加している。今回エンディング展に関しては予定の1/3しか石屋が集まっていない。このままいくと、石屋のいないエンディング展になってしまう。費用対効果はイベントを行って、次に何かに繋げるといふことよりも、出ることで他のエンディング企業との接点もでき、マーケティング的なセンスによって、変化の芽があるので参加をする。

吉田:申込期限はいつでしょうか

上野:6月14日

全会一致にて承認

(6) 【輸入】ジャパンスターショー出展について(2018/8/22~24) 望月/吉川 資料P33

望月:部会で石材店への注文減少をなんとかできないかという話になり、供養とは何か?埋葬の形は何か?などがあつた。専門的に活動している内容のカテゴリーの問題があり、顧客満足推進委員会、墓石部会が作った石材店が活用するツールがあるので、ツール紹介を中心としたブース出展をすればよいのではないかと部会意見により、協力をお願いした。
佐野:内容についてはこれからだが、これだけ石産協がよい事業行っていると思えるようなものを出展協力したい。
能島:いろいろなツールの紹介販売をさせていただき、売上向上につなげたいと思う。

全会一致にて承認

2018年度 第1回 理事会議事録

(7) 【関連】2017 シナリオ・プランニング報告決算

竹ノ内

資料 P35

竹ノ内：昨年度、理事会総会で発表している。出来上がったシナリオはあくまでも出発点。4つの可能性があり、浸透作業から今後の改革につなげる継続的な活動が必要。決算はほぼ予算通り。

全会一致にて承認

(8) 【中長期政策】日本石材産業協会のロードマップ作成

竹ノ内

資料 P37

竹ノ内：業界変化につながる動きをしていこうというところで、ロードマップの作成を上程。未来のシナリオは出発点で、これに対し、健全な危機感を持ち続ける対話の文化を協会全体に根付かせていく。道筋を考えるような活動を今年度行いたい。コアチームの募集をしたいと思っている。協会としての方向性を打ち出しながら、各地区、委員会、部会に少しでもよくなるような活動につなげていく。協会として指針となるようなものを出す。対話の中から生まれてくるものに期待をしている。外部協力者は去年から引き続きスタイリッシュアイデア。

佐野：他のところでの使い方などがうかがえると、自分たちの業界に照らし合わせて理解が深まると思う。

全会一致にて承認

(9) 第9回定時総会について／総会資料

大代

資料 P40

大代：事業報告が整った。皆さまの報告欄に誤字、脱字、修正等がありましたら、5/21までにお問い合わせしたい。

射場：すべての会員は、どこかの部会に所属していることの認識を理解していただきたいと思う。

<第1号議案>

2017年度事業報告書

各担当より 2017年度事業報告

2017年度会計報告

斎藤会計顧問：2017年度会計報告ですが、正味財産増減計算書に活動内容が記載されている。

経常収益（収入）63,019,150円 昨年度は68,704,344円なので、昨年度より減収。減収の内容として、お墓ディレクターの売上、受検料、出展料が減少している。

経常費用（支出）事業費＋管理費 61,722,480円 前年度は66,199,844円 支出も少なくなっている。

大きなところとして、通信運搬費、印刷製本費、寄付金※前年度は熊本地震へ100万円の寄付を行った。

収入、支出ともに減っている 1,296,670円黒字 昨年から比べれば減益。

法人の財産について貸借対照表を確認。

資産についてだが、すぐに現金化できない資産として、売掛金、未収金、前払金、棚卸資産が約520万円。

総資産の97パーセントが現金、預金に類するもの。

負債についてだが、未払金、預り金、未払税金関係、災害引当金は寄付を預かったものを災害対策引当金としている。

差引したものは一般の会社の純資産にあたるが、当協会の正味財産合計155,275,987円 正味財産増減計算書と一致。

黒字だったので正味財産が増えている

監査報告

伯井：5/9に望月監事、斎藤監事と3人で厳正に監査を行った。財務諸表及び収支計算書は会計帳簿の金額と一致し、協会の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。理事の業務執行に関する不正行為、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

全会一致にて承認

<第2号議案>

2018・2019年度 理事候補者(案)

役員候補者管理委員会より

藤原：福井支部長が未だ空欄となっているが、5/14に福井支部長である坂川さんの推薦文をいただいた。神奈川県支部長がまだ決まっていない。決まらない場合は地区長が兼任する可能性がある。総会までに支部長を決めたいと思う。

全会一致にて承認

<第3号議案>

2018年度組織図(案)

2018年度 第1回 理事会議事録

射場：役員候補者の選出に関しては2016、2017年度の役員の責務である。既に充分努力を重ねてくださっていると思いますが、長江副会長、大木地区長 引き続き宜しくお願いします。

2018年度事業計画(案)

各担当より総会資料説明

水野：和歌山県支部がまだ立ち上がっていない。大阪府支部に入ってもらおう方向に考えている。

大石：資料修正：近畿地区全体会議7月で調整⇒7/18・7/19に決定

藤井：資料修正：中国四国地区全体会議2018年10月⇒2018年11月に変更

能島：資料修正：ニュースターいしずえは石産協会員以外も提供できることとなったので、対象者欄に《石》を追記

2018年度事業予算書(案)

大代：予算編成委員会よりの具申が正副にあり、それを正副にて受け現在の予算を2割切詰めとした。しかし事業によっては事業計画予算通りに進める事を承認するとし、最終的にはほぼ正副の決定通りに予算を切詰めた予算書となりました。しかし、収支予算は単年度で11,992,400赤字予算である。

第三号議案について

異議なし

全会一致にて承認

【協議事項】 なし

【報告・周知・依頼事項】

- (1) **【支部助成金】** 北海道支部／2017 市民雪像 報告決算 三上 資料 P40
三上：200万人が訪れるさっぽろ雪祭りのイベントにて、協会のPRを行うことを目的としている。募集倍率は11倍だが来年も行いたいと思う。ネコを五輪塔にモチーフしたものを製作。
射場：キャラクター設定の背景を教えてください。
三上：親しみの持てる業界になる感覚を持ちたい。キャラクターを持っていない会員のためにも、色々な場で活用してもらいたいという思いがあった。
- (2) **【地区】** 北海道地区全体会議 報告決算 (2018/2/28) 赤川/三上 資料 P42
三上『やっぱりお墓にしよう』をキーワードテーマとした。大橋氏、長江氏を講師に迎えた講演会を行った。お墓にしようという方向性を継承し、次回地区会議に、つなげられる企画を計画。シリーズ化が念頭にある。
- (3) **【地区】** 中国・四国地区全体会議 報告決算 (2017/11/22～23) 姫田 資料 P44+差替 P5
姫田：決算の遅れた理由は、鳥取市から補助金を申請し、金額の確定待ちだった為である。申込は期限内にお願いしたい。
上田：補助金の金額についてだが、鳥取県以外の宿泊者数の合計人数によって補助金の金額が違い、今回は49名で7万5千円。全国各地でこのような補助金制度があるので、今後活用されてはいいかと思う。
- (4) **【採石・加工】** 国産銘石アドバイザー研修 報告決算 (2018/2/16～17) 三野 資料 P23
三野：二日目の移動は季節的な事情があり、揺れた。今後は時期的なことを考えながら、開催場所を決めていきたいと思う。
大川：研修が実施できたことを部会としてうれしく思う。今年度、第2回を茨城、3回目を西の地区にて予定している。内容をさらにブラッシュアップしてより良いものにしていきたいと思う。
鶴田：研修に参加した皆様ありがとうございました。三野さんから引き継ぎ、国産銘石アドバイザー進めていきたい。よき国産販売者の育成の繋がりに努力したいと思う。
友常：次回9/26,27に茨城県で行う。皆さまよろしくお祈りします。
- (5) **【墓石部会】** 第4回墓石部会 報告決算 (2018/2/13開催) 佐野 資料 P51
佐野：今回のテーマは石仏・祈り。源覚寺から護国寺までの石仏ウォーキングと日本石仏協会の坂口氏の講演を行った。

2018年度 第1回 理事会議事録

いつ失われもおかしくない石仏をどのように考え、調査し守っていくことも協会の役割だと思う。

(6) 【墓石部会】 墓石補償サービスについて 佐野 当日配布

佐野：2年前から開始している。現在約30社が登録しているが、損保ジャパンから再度案内をさせていただきたい。
損保ジャパン：霊園等で墓石の地震の倒壊リスクについて、独自の制度を設立させていただいた。30万円を限度に地震で倒壊した墓石の修理を割引できるサービス。会員限定なので、購入、設置した以外の会員販売店で修理、購入した場合でも30万円を限度に利用することができることがメリット。設置済みの墓石に耐震補強した場合でも途中で付加ができる。
上野：リフォームした墓石も対象とすることが可能となっているが、6万～10万で目地と取り換える場合でも対象か？
損保ジャパン：保証料を支払っていただければ保障開始ができる。
佐野：保証サービス料金は5年間なのでお得な金額である。是非勧めさせていただきたいと思う。

(7) 【輸入卸部会】 業界向け DVD 販売報告決算 望月 資料 P55

望月：望月威男氏の工場の経営、管理、切削機のメンテナンスについて中国で講演したもののDVD化。このDVDを見た中国の方で、よい結果が出た工場があったら、共有し報告したいと思う。

(8) 【お墓D】 1級取得者研修会 報告決算 (2018/2/21～22開催) 湯浅 資料 P56

湯浅：岡山県での研修。終活ジャーナリストの金子稚子氏の後援、翌日北木島の研修を行った。

(9) 【お墓D】 駿台トラベル&ホテル専門学校事業 報告決算 湯浅 資料 P58

湯浅：駿台にて14回のカリキュラムを実施。生徒が受検し新たなお墓ディレクターとなっている。業界の若い目が育つ事業となっていると思う。次年度も行う。

(10) 【お墓D】 過去問題集作成販売 報告決算 湯浅 資料 P60

湯浅：昨年までは模擬問題集を作成していたが、今年度からは過去三回分の受検問題集を作成、販売。

(11) 【顧客満足】 2017 セミナーキット事業 報告決算 能島 資料 P61

能島：マスコミ等で、墓じまい、散骨が話題となっている。一般消費者からすると供養の方法が墓じまいや散骨となっていると思われるので、地域の人を集め、簡単にできる終活セミナーのキットを作成した。
大北：昨日、セミナーキット購入者への講習会を行った。次回高松で講習会を行う。有意義に活用してほしいと思う。

(12) 【広報】 PRAY for (ONE) の活動について 上野 資料 P62

上野：PRAY For ONEは祈りの普及活動を行っている。仏壇、お墓、葬儀、寺の4団体。3月27日を祈りの日と制定。制定した理由は天武天皇が詔を発した日による。記念法要では書道家の金澤翔子さんに揮毫してもらった。

(13) 【公正】 2017年度事業報告決算/説明DVD・パンフ作成と配布について 白木 資料 P63

白木：昨年1年間かけ、公正規約の説明をDVD及びパンフによって行い、アンケートを回収。アンケート結果については大部分の方から前向きに考えていただいている。

(14) 【公正】 2017年度石材業界団体への公正競争規約推進について 白木 資料 P66

白木：パンフレットを持って主だった団体に発起人を依頼している。全優石様から昨日、承諾もらった。他承認団体は資料の通り。今後とも規約に賛同いただき、ルールを決め、消費者の為に、業界の為になっていくようにしていきたいと思う。Q&Aの資料を精査して、内容を石産協通信にて配布したいと思う。

(15) 【支部助成金】 北海道支部/2018 幸フクロウ 三上 資料 P74

山本：継続事業として9回目を迎え、施設側からもネットワークで紹介していただいている。石の素材は、永遠に残る当時の子どもたちへの記念であると思う。

2018年度 第1回 理事会議事録

- (16) 【支部助成金】愛知県支部／2018 ジャパンストーンショー出展について 吉田 資料 P75
吉田：産地及び伝統技能のPRを目的との事でエントリーした。岡崎メイソonzという主に加工に従事する9名で参加出展の予定。3コマを4コマに変更した。支部会員の来場、会員拡大につなげたい。
- (17) 【地区】近畿地区全体会議 in 滋賀 事業計画 (2018/7/18~19) 水野/大石 資料 P P76+案内申込
水野：大手会社の社員研修にも使われている近江商人を描いた映画を上映と講演。総会後の間もない開催だが、ぜひ足を運んでほしい。
大石：売り手によし、買い手によし、世間によしという三方よしという社会貢献をしながら、商売をさせていただくということ 키워ワードに、近江商人のノウハウを皆様と共に学ばせていただきたいと思う。
- (18) 【関連】第9回定時総会カタログ展示会 事業計画 (2018/6/22) 竹ノ内/大塚 資料 P77
竹ノ内：総会会場を利用して、関連部会会員のカタログ展示会を行い、総会の来場者を増やしたいと思う。
- (19) 【顧客満足】「セミナーキット」購入者向け勉強会開催について 能島 資料 P78
能島：昨日、第1回目の勉強会を行った。有意義な勉強会となった。6月の勉強会は値打ちがあるものだと思う。在庫があるのでぜひ購入して庵治の勉強会に参加してもらいたい。
- (20) 【顧客満足】「石材店に行く前に読む本」改訂版作成 能島 資料 P80
能島：10年前作成した石材店に行く前に読む本だが、若干時代背景的にズレがある部分だけを修正をするだけにとどめたいと思う。在庫がないので、早急に検討していきたい。
- (21) 【顧客満足】「いしずえ」販売方法変更 能島 資料 P81
能島：2年前から販売。4社にとどまっている。現状のままだと取りやめになるため、非会員でも購入できるようにする。1都道府県2社限定。会員と非会員の料金体系の差を設ける。
- (22) 【顧客満足】各種お礼はがきについて 能島 資料 P83
能島：小売店向けのツール。6種類のシーンに応じたはがきを用意した。合計600枚以上の注文となる。カスタマイズ可能。
- (23) 【ストーンショー】ジャパンストーンショー協賛及び出展 (2018/8/22~24) 上野 資料 P85+当日配布
上野：今年は第2回。主催ではなく今年は特別協賛。3日目の24日は一般客来場。200社参加。委員会としてはエンディング産業展に社員旅行、家族旅行を兼ねて来場してほしい。情報の拡散をお願いしたい。22日23日にセミナーを行う。
- (24) 【女性】ジャパンストーンショーセミナーについて (2018/8/23) 長江 資料 P86
長江：JSS開催期間中に、女子力アップのセミナーを開催し、女性石材人としての交流会を行う。石産協通信に掲載された女性の方、お墓ディレクター取得の女性の方に集まってもらいたいと思う。15:30に時間が変更になっている。
- (25) 【広報】お墓参りの日ポスター配布中間報告及び母の日参りイベント参加報告 上野/吉野 資料 P87
上野：秋分の日ポスターは追加注文が多数あった。母の日参りのイベント報告だが、手紙コンクールには1800通応募があり、イベントでは中村獅童氏の朗読が行われた。
吉野：ポスター事業は継続していきたいと思う。良い事、悪い事を精査し次年度につなげていく。期待してほしいと思う。
- (26) 【協賛依頼/会員拡大】第15回庵治SF青年部交流会協賛依頼 (2018/6/8) 大代/井口 資料 P91
大代：今までは次世代共育が担当していたが、次年度より会員拡大委員会がこの事業を担当する。
井口健：現在会員が減少している。推薦者カードを作成するので、是非非会員の方に対し、紹介をしてほしい。
中村：全国から青年部の方が集まるので、会員拡大につなげられるようサポートしたいと思う。

2018年度 第1回 理事会議事録

(27) 【協賛依頼】 むれ源平石あかりロード後援及び広告協賛依頼 (2018/8/4~9/15) 大代 資料 P93

大代：例年通りロードマップと団扇への広告。20万円の予算だが、開催期間が長く又来場者も多いので正副で承認した。
大川：2万部ロードマップが配布される。支部ではお墓参りをしよう！キャンペーンを行っている。

(28) 【寄付金】 仏教会 海外人道支援等について 大代 資料 P94

大代：支援の指定先は無しとして1万円の寄付を行った。

(29) 賠償責任保険制度終了の報告 大代 資料 P96

大代：100社加入目標だったが、保険金額の変更などがあり加入者があまりなく、前年度をもって終了することとなった。

(30) 支部総会日程について 大代 資料 P97

大代：支部総会が期日内に開かれたことを感謝する。総会資料、議事録の提出を早急をお願いしたい。

(31) 支部運営費未納者への対応について 大代 資料 P98

大代：会員は、未納者に退会を勧告することができるとなっているが、勧告した後のことだが、年度末までに支部運営費が入金されない場合は、支部長から事務局へ報告をしていただき、本部より退会勧告することになる。会員の中には、石産協には入会したが、支部には入っていないと思っている人はいるが、定款にある通り、必ず地区、支部に所属しなければならない。定款に違反となるので、退会を本部の方から勧告することとなる。共通認識として把握していただきたい。

(32) 第9回定時総会 当日の流れについて (2018/6/22) 大代・小松 資料 P99

大代：理事から未だ52名提出がない。急に出席できなくなった為の委任状であるので、必ず署名いただきたい。

小松：目標150名 現在86名の参加人数なので、皆さま出席をお願いしたい。エクスカージョンの参加者も少なく、厳しい状況なので出席をお願いしたい。

(33) 2018年度会議スケジュールについて 大代 資料 P100

大代：2019年までの日程。理事会等の委任状は必ず出席をする人をお願いしたい。

※ 前回の常任理事会のテーブルディスカッションの質問に対して未回答の方がいるので早急に返答をお願いします。

チェックアウト (グループ内にて感想発表)

監事講評

望月：皆さん、一生懸命討議して頂きました。今日、初めて来た理事の方は、たくさんの議事があり驚かれたと思います。予算は7千万円の支出。どんなところに予算を使い、何をしたらいいのか、皆さんで話をしていただければありがたいと思います。

閉会

2018年5月16日

議事録署名人：井口 功 ⑩

議事録署名人：斎藤 勝実 ⑩

議長：白木 秀典

議事録作成人：事務局 中村 早苗